

2009年度経営プラン

2009年5月

古河電気工業株式会社

取締役社長 吉田 政雄

《環境認識》

- 「**伝送インフラ系(情報通信・エネルギー)**」は
グローバルな通信・電力インフラ投資に支えられ底堅い
- 「**素材ニッチ系(産業機材・金属・電装エレ)**」の一部は
08Q4で在庫調整解消も汎用品の回復は下期に

《施策》

- 「**上げ寄せ止め**」固定費削減断行で資産効率アップ
- 伝送インフラのグローバル展開、素材ニッチのポジション強化



09年度当期黒字確保

1. 08年度決算ハイライト

08実績 売上減、為替損・特損増

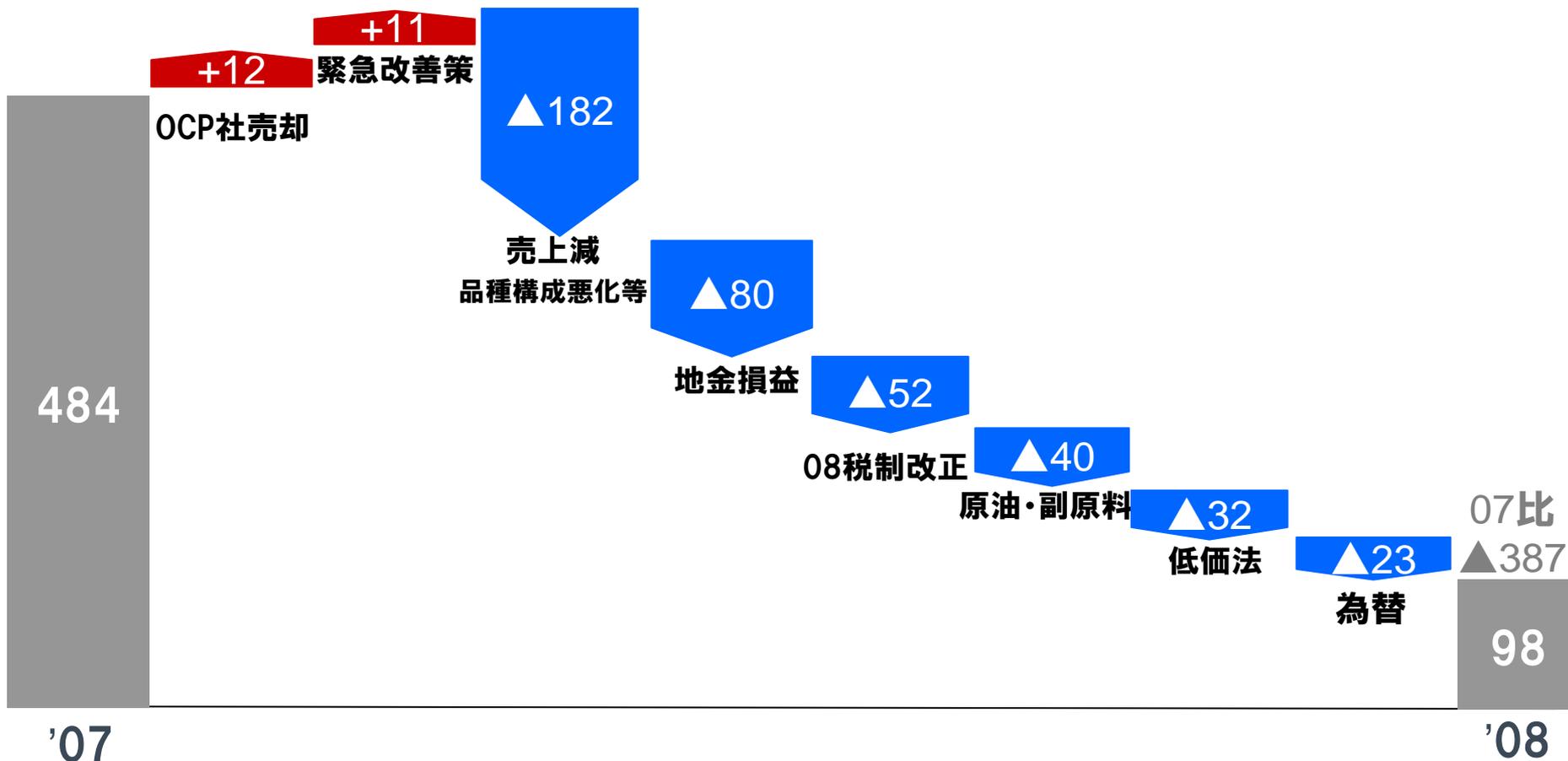
FURUKAWA ELECTRIC

	07実績	08実績	増減 (増減要因)	(単位:億円)
売上高	11,742	10,328	▲1,414	
08税制改正影響	—	▲52	▲52	(償却7年に短縮)
低価法適用影響	—	▲32	▲32	
営業利益	484	98	▲387	
為替損失	▲31	▲186	▲154	(在外子会社の円建て借入金為替損)
経常利益	408	▲148	▲556	
特別利益	54	265	+211	(為調取崩+185,株売却益+26)
特別損失	▲152	▲426	▲274	(減損▲98,環境▲106)
法人税等	▲204	▲22	+181	
法人税等調整額	89	▲105	▲194	(繰延税金資産取崩▲146)
少数株主利益	▲43	62	+105	
当期利益	153	▲374	▲527	
有利子負債	3,991	3,831	▲159	

07⇒08營業利益増減

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)



07⇒08セグメント別実績

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

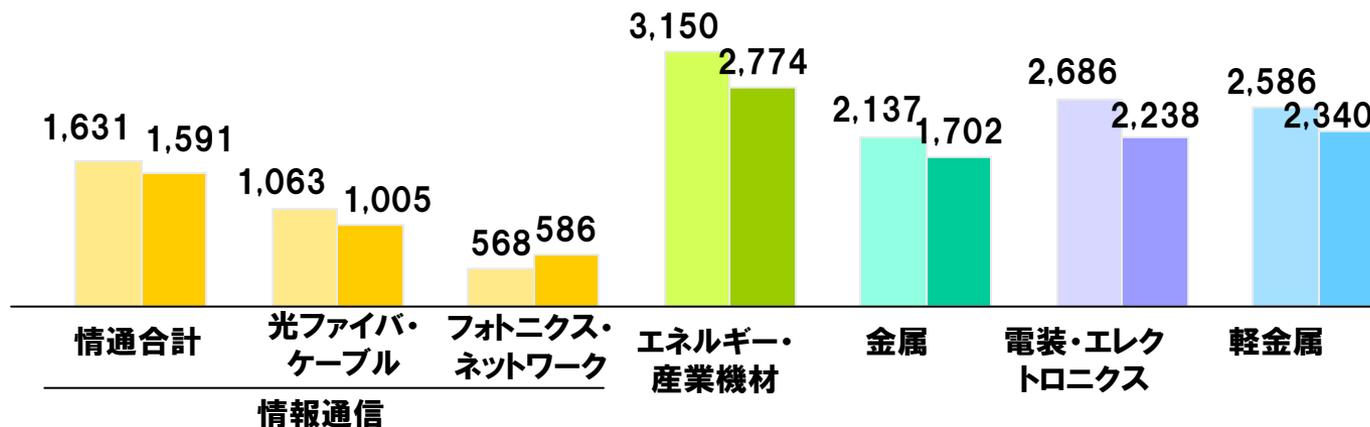
伝送インフラ系

素材ニッチ系

■(左)'07

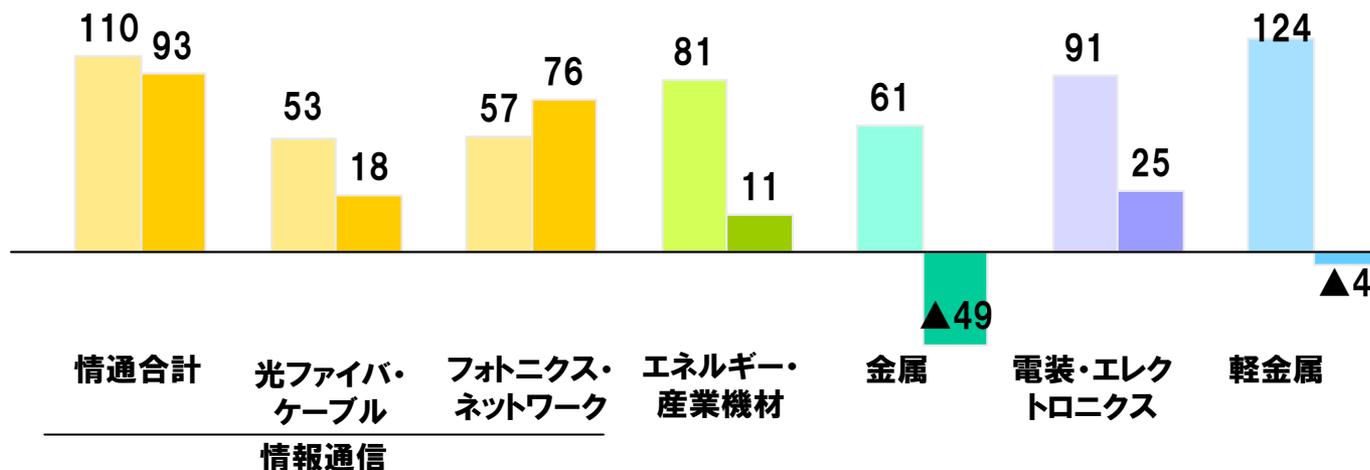
■(右)'08

売上高
07:11,742
08:10,328



営業利益

07: 484
08: 98



リスクを縮小

●営業外為替損失の縮小

在外子会社の円建て借入金に関して、08年度までは対米ドル1円の円高で▲6億円のリスク

⇒08年度営業外為替損▲186億円が09年度から大幅減

●繰延税金資産

単体：地方税分74億円全て取崩

⇒09年3月末残：単体221億円、連結計349億円

●コンプライアンス

銅管JIS再取得、発泡製品カルテル排除命令

⇒再発防止を徹底

2. 09年度通期経営プラン

09予想 当期利益黒字化

FURUKAWA ELECTRIC

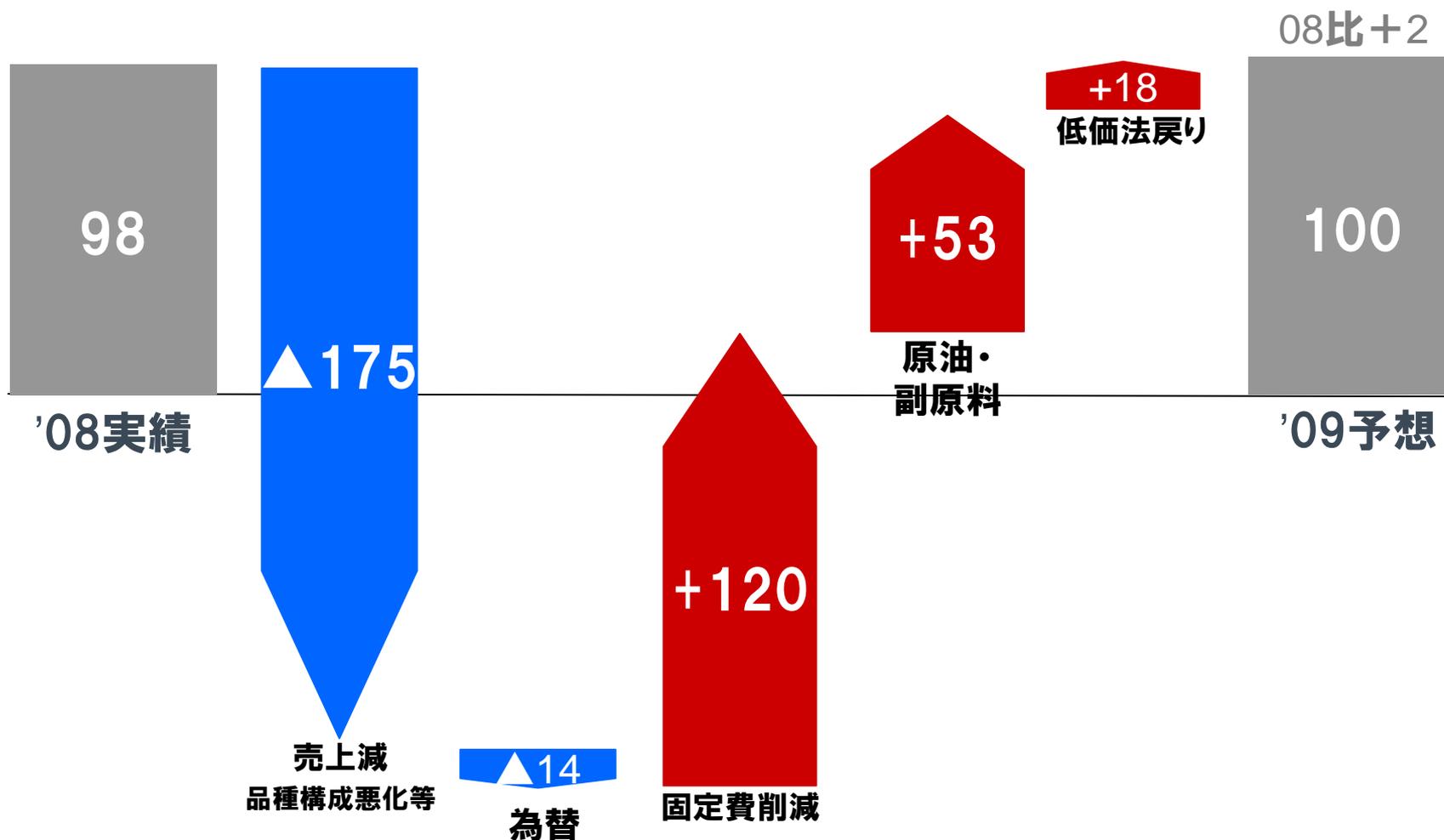
(単位:億円)

	08実績	09予想	増減
売上高	10,328	8,070	▲2,258
営業利益	98	100	+2
為替損益	▲186	5	+191
経常利益	▲148	70	+218
特別利益	265	16	▲249
特別損失	▲426	▲37	+389
法人税・調整等	▲127	▲22	+105
少数株主利益	+62	▲2	▲64
当期利益	▲374	25	+399
実績・前提値			
為替(¥/\$)	103.5	95	
原油(\$/B)	81.9	50	
銅建値(¥/kg)	657.0	480	
アルミ価格(¥/kg)	269.6	200	

08⇒09予想 営業利益増減

FURUKAWA ELECTRIC

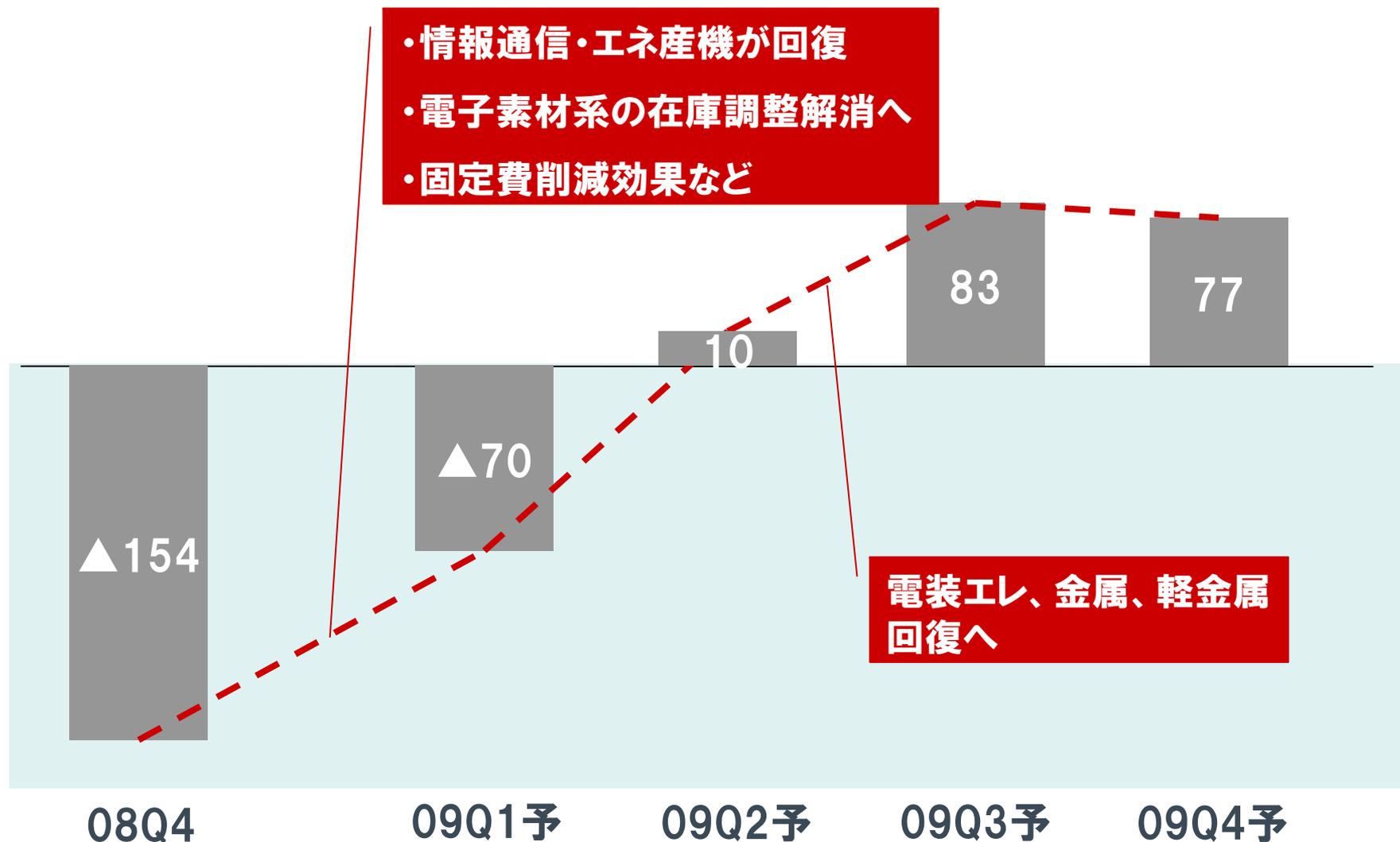
(単位:億円)



09予想 Q2営業黒字化を予想

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)



固定費を08比120億円削減

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

設備関連	+40	減損による償却費減 設備投資圧縮 銅線・発泡生産拠点集約等
人件費関連	+60	役員報酬カット10~20% 管理職給与カット5% 時間外勤務削減 非正規社員・派遣社員削減等
追加施策	+20	役員報酬カット上乘せ5% 役員業績連動報酬ゼロ その他経費圧縮等
計	+120	

償却内設備投資でキャッシュ創出

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

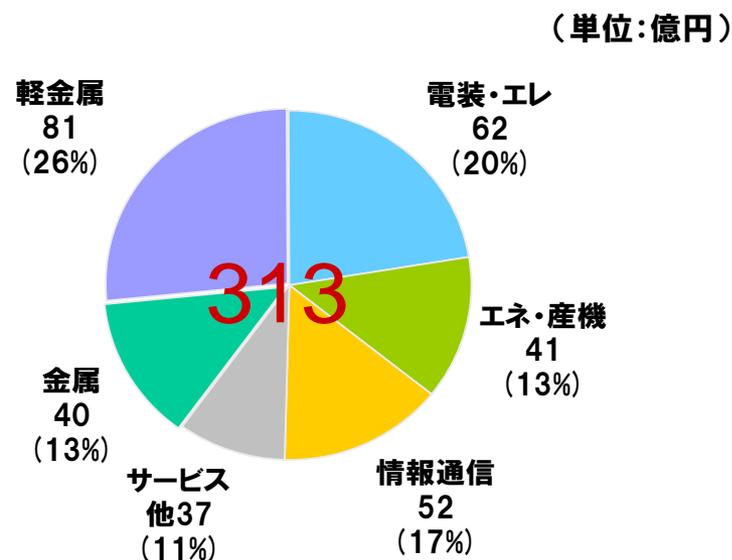
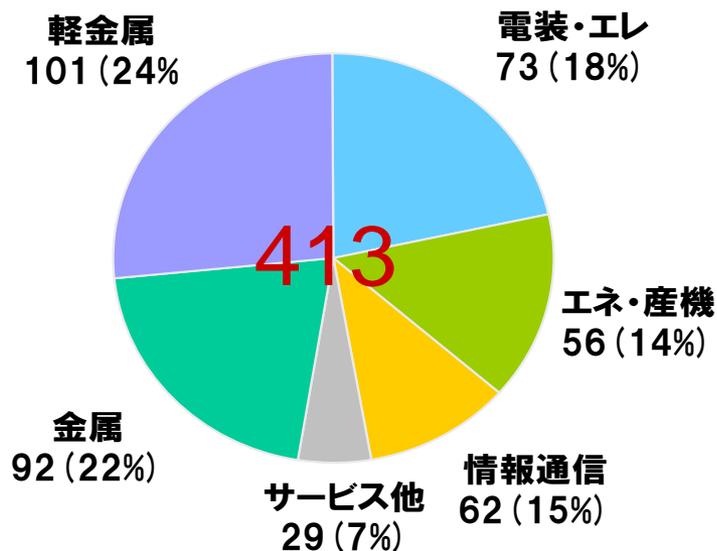
	08実績	09予想	増減
A 設備投資	413	313	▲100
B 減価償却	469	445	▲24
B-A 差額	+56	+132	+76

◆09年度の主な投資内容

情報通信	光部品増産
エネ産機	電力部品増産
金属	銅箔増産
電装エレ	自動車部品増産
軽金属	圧延用モーター更新

08年度実績

09年度予想



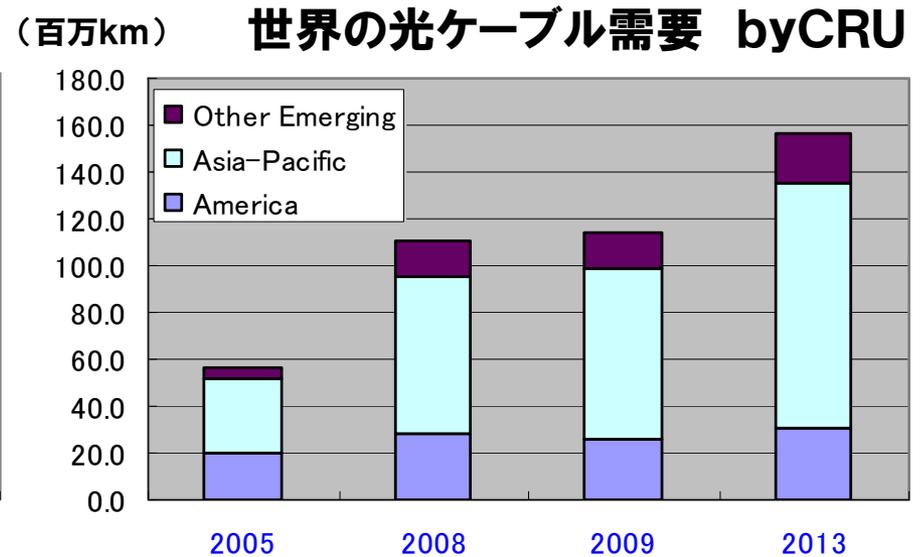
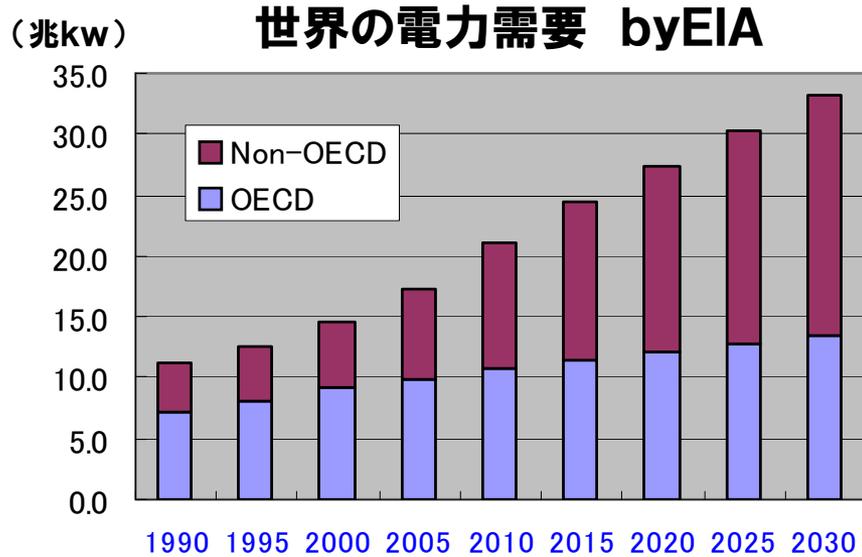
構造改革とグローバル化を同時推進

FURUKAWA ELECTRIC

▼伝統的事業の上げ寄せ止め ●伝送インフラのグローバル展開 ■素材ニッチのポジション強化

	2008												2009												2010											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
情報通信	●ケーブル・欧州OFS増強 ▼ケーブル・国内拠点統合												●ファイバ・インド合併開始 ●ケーブル・インドネシア増強																							
エネ産機	●高圧部品・FPC連結 ●高圧ケーブル・瀋陽増強 ●高圧部品・井上完全子会社化												▼発泡・一部品種集約 ●高圧ケーブル・瀋陽増強 ▼銅線・国内拠点統合												▼建設用電線・昭和電線と販売統合											
金属	■銅箔・FCF増強												■銅箔・FCF統合																							
電装エレ													■ガラス基板・生産開始												▼巻線・理研、東特と統合											
軽金属	■車ラジ材・韓国社と提携 ■太陽光発電基板ホルダ・生産強化 ■印刷版・英国社に資本参加																																			
本部	▼北米再編												▼原子燃料工業の一部株式をウェスチング・ハウスに売却																							

成長地域で「伝送インフラ」を増強



- 中国・瀋陽(高圧ケーブル)..... 中国景気対策で需要増、09年5月増強**
- タイ・FFT(半導体レーザ)..... 国内NGN, 中国・米国向け需要増**
- インド・JV(光ファイバ)..... ユニバーサル社と線引合併 09年9月～**
- インドネシア・FOSI(光ケーブル)・ 同国内需要増、10年初頭増強**
- 米国・OFS(光ケーブル)..... 欧州キャリアプロジェクト向け需要増**

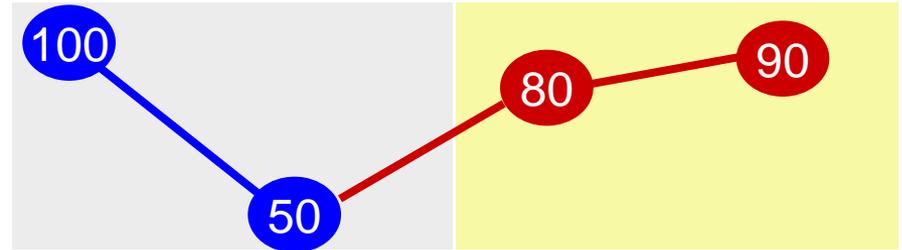
電子部品向け「素材ニッチ」は回復基調 FURUKAWA ELECTRIC

数量ベース
08上=100

08上 08下 09上予 09下予

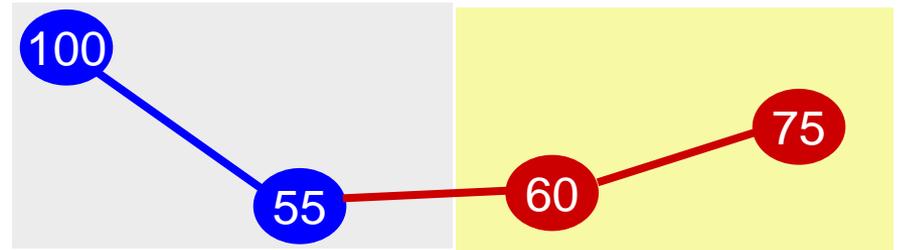
電解銅箔

(金属:リチウム電池、プリント基板用)



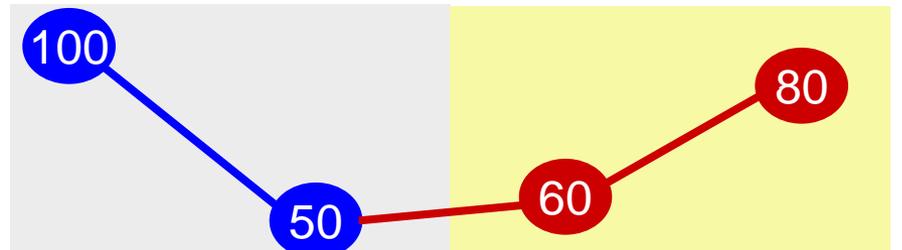
半導体テープ

(エネ産機:半導体ウェハ加工用)



アルミブランク材

(電装エレ:ハードディスク用)



**事業環境は厳しいものの、
安定配当のポリシーに則り、
年間5.0円(中間期末2.5円、期末2.5円)
の配当予想といたしました。**

3. セグメント情報

セグメント別新予想

(単位:億円)

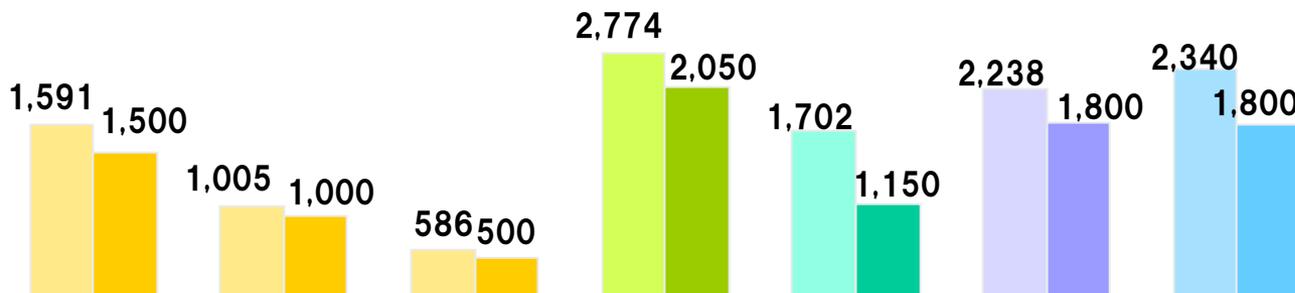
伝送インフラ系

素材ニッチ系

■(左)08 ■(右)09予想

売上高

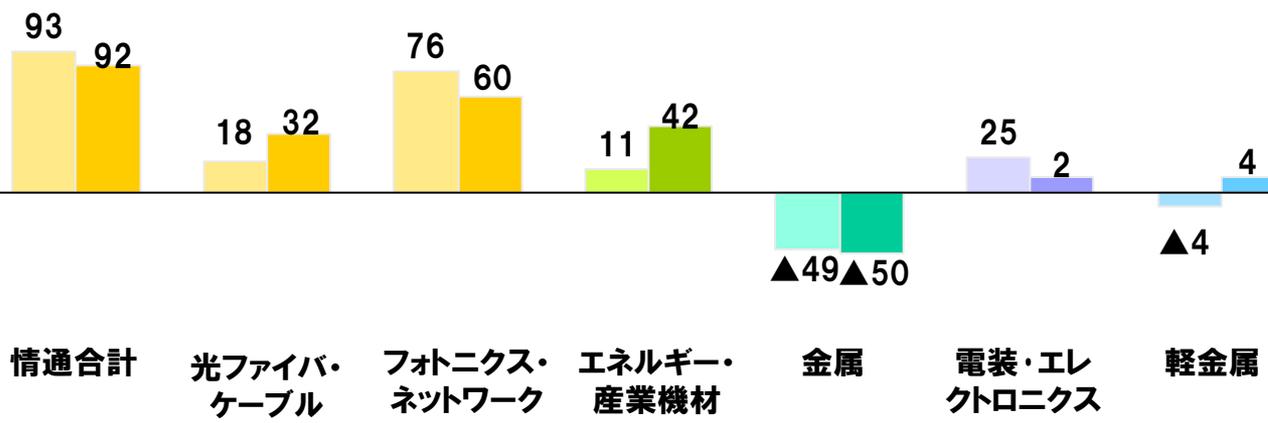
08: 10,328
09予: 8,070



情通合計 光ファイバ・ケーブル フォトニクス・ネットワーク エネルギー・産業機材 金属 電装・エレクトロニクス 軽金属
情報通信

営業利益

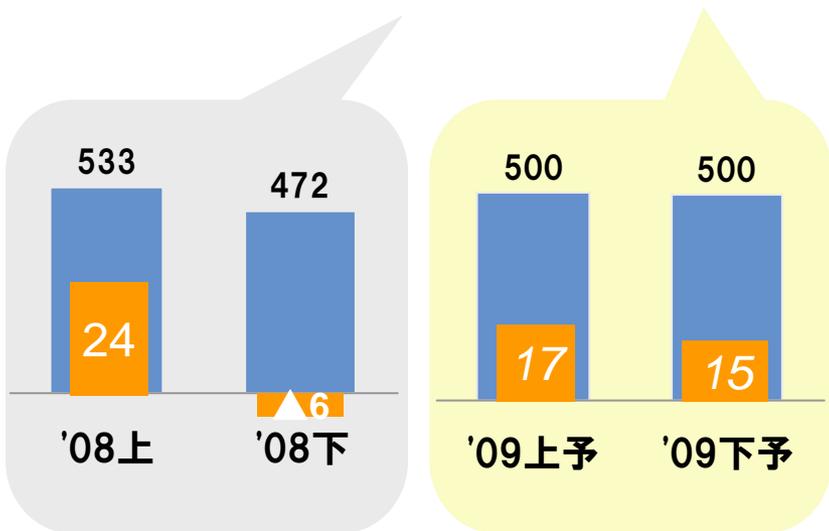
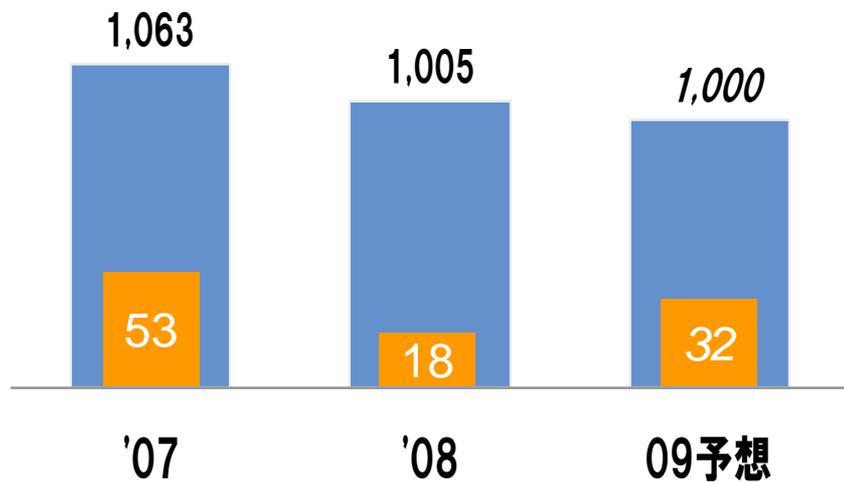
08: 98
09予: 100



情通合計 光ファイバ・ケーブル フォトニクス・ネットワーク エネルギー・産業機材 金属 電装・エレクトロニクス 軽金属
情報通信

情報通信<光ファイバ・ケーブル>

売上高 ■ 営業利益 ■



営業利益の変動要因

(単位: 億円)

'07→'08

53→18

▲35

- + ブラジルLANケーブル好調
- ▲ 国内光ケーブル低調
- ▲ 米OFS光ケーブル低調
- ▲ 為替損▲10

'08→'09予

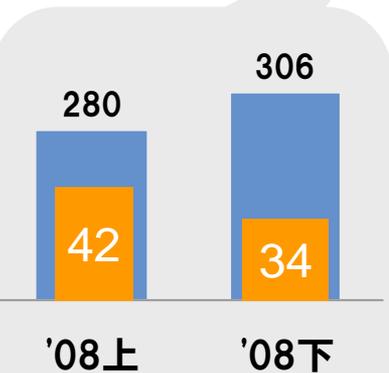
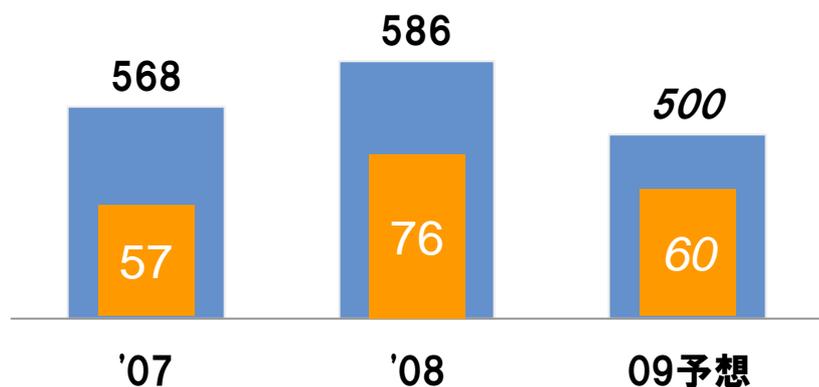
18→32

+14

- + OFS欧州光ケーブル需要増
- + アジア向け光ファイバ需要増
- ▲ 国内光ケーブル低調続く

情報通信 <フォトニクス・ネットワーク>

売上高 ■ 営業利益 ■



営業利益の変動要因

(単位:億円)

'07→'08

57→76

+18

- + 07上に米赤字会社売却+12
- + 国内NGN向けアンプ・レーザ好調
- + 国内ルータ、CATV関連好調

'08→'09 予

76→60

▲16

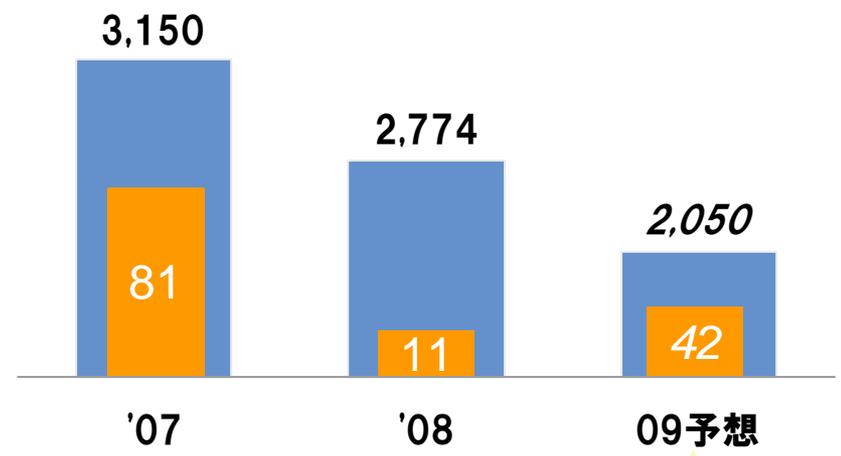
- + 国内NGN向けアンプ好調続く
- + 中国・米国向けアンプ・レーザ需要増
- ▲ 国内ルータ、CATV関連を慎重視

エネルギー・産業機材 <銅線・電力、プラスチック>

売上高 ■ 営業利益 ■

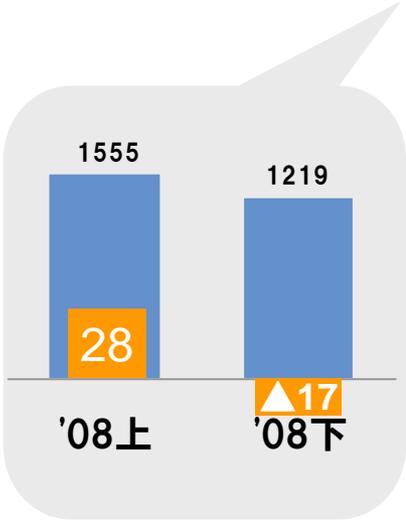
営業利益の変動要因

(単位:億円)



'07→'08
81→11
▲71

- エネルギー
- + 中国瀋陽高圧ケーブル好調
 - ▲ 国内産業電線低調
 - ▲ 銅線で地金損益悪化
- 産業機材
- ▲ 半導体テープ減速
 - ▲ 発泡製品低調

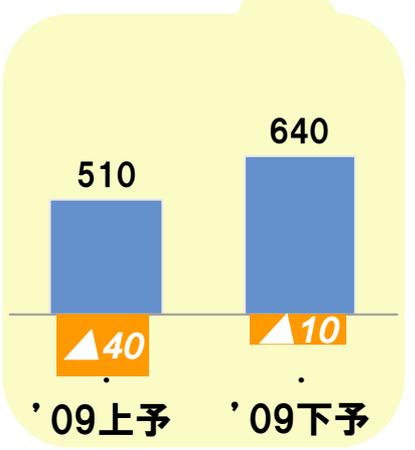
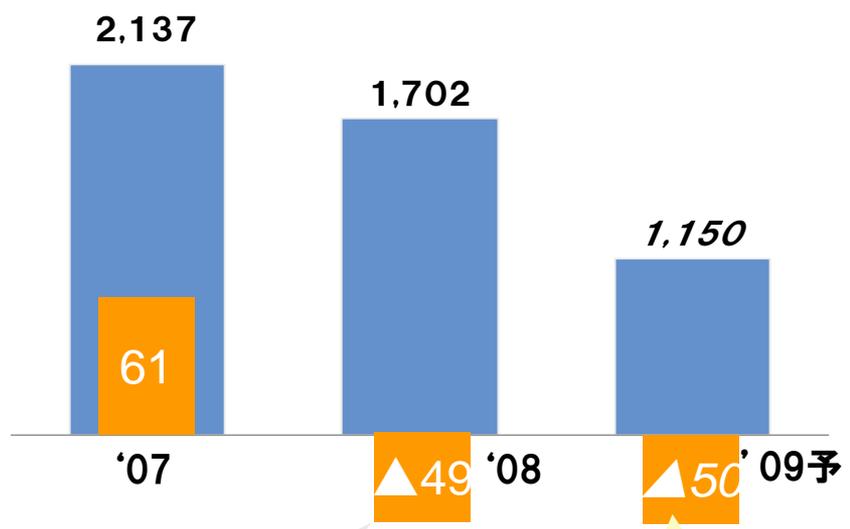


'08→'09 予
11→42
+31

- エネルギー
- + 中国瀋陽高圧ケーブル好調続く
 - + 国内産業電線回復
 - + 銅線で地金損益回復
- 産業機材
- + 海外発泡製品回復
 - ▲ 国内発泡製品低調続く

金 属 <銅条、銅管、銅箔>

売上高 ■ 営業利益 ■



営業利益の変動要因

(単位:億円)

'07→'08
61→▲49
▲110

- ▲ 銅条・銅管の下期需要大幅減
- ▲ 銅箔の下期需要大幅速

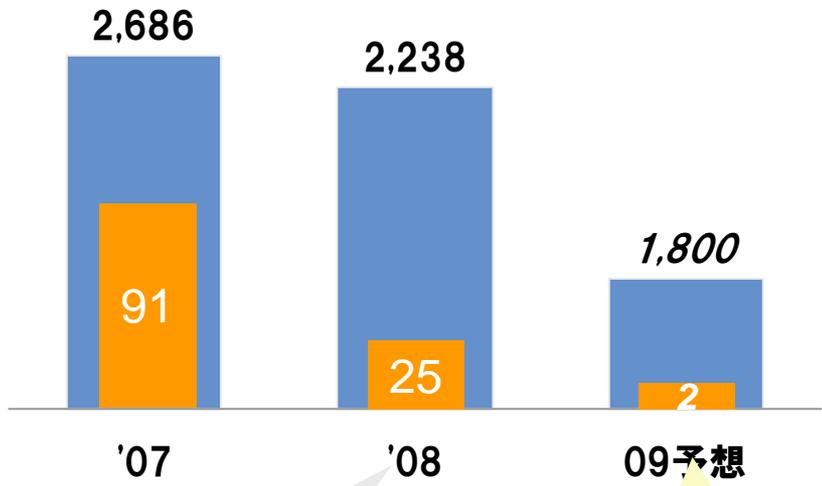
'08→'09予
▲49→▲50
▲1

- + 銅箔の需要は期初から回復
- ▲ 銅条・銅管の需要低迷続く

電装・エレクトロニクス<巻線、ELC、自動車部品>

FURUKAWA ELECTRIC

売上高  営業利益 



営業利益の変動要因

(単位:億円)

'07→'08

91→25

▲66

- + 電池、鉛価格下落で好調
- ▲ ワイヤーハーネス下期需要減
- ▲ ELC、巻線低調
- ▲ 為替損▲7

'08→'09予

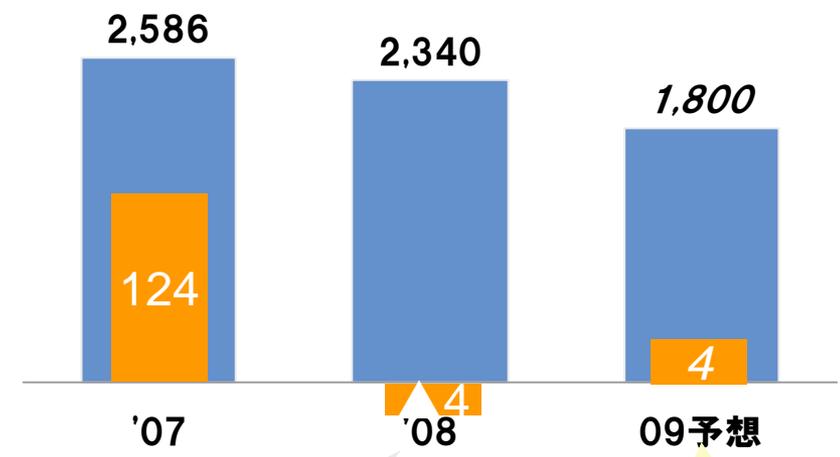
25→2

▲23

- + ガラス基板立ち上げ
- ▲ ワイヤーハーネス、ELC低調続く
- ▲ 電池、需要減と鉛下落分価格下げ

軽金属<アルミ加工品>

売上高  営業利益 



営業利益の変動要因

(単位:億円)

'07→'08

124→▲4

▲127

- ▲ 全般的に下期売上量減
- ▲ 原油・副原料価格高騰▲26
- ▲ 税制改正影響▲28

'08→'09予

▲4→4

+8

- + 全般的に下期回復見込む
- + 原油・副原料価格下落+35

3つの方向性

- ◎通信・電力の「伝送インフラ事業」をグローバル展開
- ◎有機・無機素材で差別化した「ニッチ事業」でポジション強化
- ◎伝統的な銅加工事業は「上げ・寄せ・止め」

**事業ポートフォリオの大胆な組み換えで
BS価値変動リスク縮小⇒PL成長へ**

ご清聴ありがとうございました。



将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。